行きます・聞きます・提案します

～商工会の支援事例～ 16

中能登町商工会

Iターン創業者の、創業から地域に溶け込むまでの密着支援

支援先：能登デジタルネットワーク（歯科技工所）

人工歯の技 中能登で

歯科技工士 大島さん、22日開業

空き家バンク活用

22日に開業する大島圭輔さん＝中能登町能登部上で

横浜市出身の歯科技工士の男性が、二十二日に中能登町で開業する。空き家バンクに登録されていた民家を借り、自宅兼職場として北陸地方の歯科医師を営業先に人工歯の作業に取り組む。

（松村真一郎）

大島圭輔さん(三)は、歯科技工士として横浜市の会社に勤務していた。仕事を発注している中能登町の技工会社の技術力を学びたいと思い、昨年一月に出向。今年四月下旬まで技工会社に勤め、以前から地方での生活に憧れていたことから、町での開業を決めた。

出向時に借りていた同町能登部上の民家が空き家だったため、妻の麻希さん(三)と長女の三人で借りることにした。町の創業支援制度を受け、「能登デジタルネットワーク」と名付けた。町によると、支援は六件目。

仕事内容は、歯科医師から依頼を受けた入れ歯や銀歯を作る。特に、左右両側で欠損する歯が複数あっても、一つの金属フレームに装着した人工歯で補え、着脱しやすい「ワンピースキャストメタルフレーム」が得意という。

以前勤めていた横浜市の会社から外注を受けるほか、今後は県内外の歯科医師に営業活動をする。

大島さんは「町から創業支援を受けることができたのはありがたかった。技術を生かして医師の手助けをしたい」と、意気込みを話した。問大島さん〇九〇（二四六四）九五〇七

（平成29年６月22日 開業を伝える北陸中日新聞）

ワークライフバランスの実現に向けて家族で移住

代表の大島圭輔氏は、神奈川県の中堅規模の歯科技工所に勤務するサラリーマンでしたが、顧客である歯科医院からの短納期要望に応える不規則勤務のため、家族と過ごす時間確保が難しく、また、のびのびした田舎の環境で子育てをしたいとの強い思いがありました。

そのような中縁あって、中能登町の「空き家バンク制度」を知りIターン移住し、当会会員の歯科技工所に勤務しました。

創業への思いを形に

大島氏の勤務先事業所へ訪問した時に、独立開業に向けた思いを聞き、当商工会が開催する創業セミナーの受講をお勧めし、詳細な事業計画書の作成に取りかかりました。

更に、補助金・融資といった資金調達など、二十五回にわたる面談を行った結果、平成二十九年六月に歯科技工所「能登デジタルネットワーク」の開業にこぎ着けることができました。

安定した受注の確保が！

事業主となったことで、営業や事務など事業に関する全てを自分一人で行わなければならず、大変苦労されていたことから、大島氏の片腕となる思いを持って支援に取り組みました。

営業については、当事業所の特徴をコンパクトにまとめたチラシの作成や商工会の無料ホームページ作成ツール「SHIFT」を用いた情報発信を提示し、作業に取り組みました。

事務については、商工会が提供する発注・納品・請求を一括管理できる「販売ワークス」とそれと連動する「会計ワークス」の提供により、事務時間を大幅に削減することができました。

結果として、能登地区の歯科医院との新規取引先の開拓に成功し、創業時の不安要素の一つであった安定した受注の確保を図ることができました。

（大島氏作成の歯科補綴物）

（加工に集中する大島氏）

持続化補助金で製造能力をアップ

最先端のデジタル技工技術をアピールした営業活動により受注量が増加してきたことから、それに耐え得る製造能力の確保という新たな課題が発生しました。

その解決策として設備導入による工程の自動化を図ることとし、小規模事業者持続化補助金の活用を提案しました。

業界特有の専門用語の理解に苦労しながらも密着支援を行ったことで補助金採択を受け、課題の解決につながりました。

移住の不安も解消へ

大島氏はIターンによる移住のため、未知の土地に住むという不安も感じていたことから、町内の同年代の幅広い経営者や後継者が集う「商工会青年部」の魅力を伝え入会していただきました。

この結果、大島氏の人的ネットワークが拡大したことで「心の不安」を和らげることができました。他の移住者の入会もあり、青年部全体にこれまでにない活気が生まれています。

担当経営指導員から一言

令和元年度の創業セミナーにおいて、大島さんに先輩創業者として受講生を前に様々な思いを発言いただきました。その際の充実感あふれる笑顔が非常に印象的でした。これからもますます笑顔を増やせるように様々なサポートを実施していきたいと思います。

担当経営指導員
中能登町商工会
高田圭一朗

能登デジタルネットワーク
〒九二九－一六〇二
鹿島郡中能登町能登部上甲八十九－二
TEL〇九〇－二四六四－九五〇七

高田指導員の行った「能登デジタルネットワーク」様への支援は、平成三十年度石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。